

令和4年度第9回理事会議事録

1. 日時：令和4年12月14日（水）
第9回理事会 午後6時30分～午後8時30分

会 場：Web 会議

出席者：中川理事長、芳本副理事長、井阪理事、射場理事、村西理事、千葉監事、
大井局長、辻畑局長、田箒局長、大槻局長、本田大会長

書 記：中平、神杉（総務部）

【議題】

I. 令和4年度第9回理事会議題

1. 承認事項

- 1) 令和4年度第8回理事会議事録
資料参照の上、承認された。

2. 報告事項

- 1) 本田大会長より、第35回大阪府理学療法学会準備の進捗状況について報告があった。
- 2) 各局事業進捗報告
各局長より報告があった。
- 大井局長より、各部局から来年度の予算案が提出されていることの報告があった。
- 井阪理事より、令和4年度の収入、支出の経過報告と令和5年度の収入で減額される見込みの内容についての報告があった。事務局内で収支予算調整を行い次月理事会にて報告する。
- 辻畑局長より、新HPがキックオフされたことについて、府士会ニュース295号の原稿の取りまとめ、修正の連絡を府士会広報部へ行ったことの報告があった。
- 田箒局長より、今年度研修集会（6回）が終了したこと、第5回生涯学習研修会の準備状況について、会場は大和大学で検討していること、2023年度センター主催の理学療法士講習会（上半期）の募集が11月末で締め切られたこと、「総合理学療法学」第3巻について、受付6件（査読・審査・修正中4件、受理2件）であることの報告があった。
- 大槻局長より、指導者マニュアルの修正、認定CE制度の検討と講師の選定が行われている。後期研修C領域研修は12月1日（9名）、8日（26名）、15日（19名）、22日（開催予定）である。新人症例検討会は4支部合計183演題オンラインで開催予定。
- 射場理事より、学会大会部102事業の予算修正について追加報告があった。活動予算増額の承認の依頼があり、メール審議を行うこととなった。第36回大阪府理学療法学会大会の会場予約の進捗について報告があった。令和6年7月28日（日）開催で見積もり書を作成し申し込みを行うこととなった。意見として、会場の使用用途について、ベースとなるものを決めておく。37回～40回大会（4支部一回り）でそのベースとなる用途で実施し、41回からは変更するのかを改めて検討する予定としてはどうかとのこと。学会大会部で検討し理事会で報告することとなった。

3. 審議事項

- 1) 認定臨床教育者講習会について（ML審議にて承認済み）
ML審議が行われ承認済であるため追認とする。
- 2) 認定臨床教育者講習会受講費について
射場理事より資料の通り報告があった。前回からの継続審議事項であり、講習会開催はBasicを2回、Advanceを1回、Masterを1回で、合計4回開催予定である。Basicコース、Advanceコースを1000円に減額し、Masterコース3000円と設定する。Basicコース、

Advance コースが演習が主体であるのに対し、Master コースは講義が主体であることと認定証を入れる賞状ホルダーをつけることで受講料の差別化を行う。また、会場は森ノ宮医療大学で行うことになり、貸借料は0円となった。審議の結果、承認となった。

3) 診療参加型臨床実習指導者マニュアルの公開について

射場理事より資料の通り報告があった。診療参加型臨床実習指導者マニュアルについて、加筆・修正を行った。本マニュアルは、文字、図、イラスト、動画で構成されたマニュアルになる。指導者が読めば診療参加型臨床実習ができるようになることを目的に作成している。現在0版としているが、発刊の時には初版とする。既存の協会の手引きとの差別化や、センターで改めて提示する意図を記載した「発刊にあたって」を作成してはどうか。個人名ではなく、「センター」もしくは「臨床実習教育部」として。などの意見があり、審議の結果継続審議となった。

4) 第34回大阪府理学療法学術大会優秀演題賞受賞者および学術賞候補者の推薦について

射場理事より資料の通り報告があった。第34回理学療法学術大会の優秀演題賞の対象者を規定に則り、1次審査、および2次審査を行い、優秀演題賞受賞者および学術賞候補者を選定した。審議の結果、承認となった。

5) 受託研修部（認定カリキュラム事業）の追加予算請求について

村西理事より 資料の通り報告があった。今年度実施した認定理学療法士教育カリキュラム事業について、予算の講師料等について支出額が超過となる。理由として協会の事業申請を基に参加費収入で運営することを前提に予算計画を行ったことが原因で予算請求額を過小請求したことで支出額（講師謝金額・源泉所得税および人件費）が不足した。各部の収支予算は事務局が行うためR5年度事業予算からは収入と予算は別に計上することを確認し、審議の結果、承認となった。

6) 生涯学習研修集会の大会組織および実行委員長について

村西理事より 資料の通り報告があった。今後の生涯学習研修集会の大会組織（役 職）および実行委員長の選定案を作成した。審議の結果、承認となった。次回の理事会で第5回生涯学習研修集会の実行委員長の選出を検討する。

7) 第5回生涯学習研修集会の会場について

村西理事より 資料の通り報告があった。前回からの継続審議として、研修会場を大阪国際会議場から大和大学に変更することについて審議がなされた。研修集会については会場は大阪国際会議場に拘らず、通信環境、ハンズオン研修にも対応しやすい養成校の施設等への利用を進めていく。

審議の結果、承認となった。

8) 総合理学療法学のメディカルオンラインへの掲載について

田籠局長より 資料の通り報告があった。株式会社メテオより、メディカルオンラインへの学会誌の掲載の案内があった。センターの学術誌「総合理学療法学」の掲載について契約を行うか否かについて審議がなされた。審議の結果、掲載することで承認となった。

9) 第35回大阪府理学療法学術大会予算の修正について

射場理事より資料の通り報告があった。協賛企業を応募するにあたり、資料の通り金額設定を細分化した内容について審議がなされた。審議の結果、承認となった。

4. その他

1) 外部監事についての意見交換がなされた。

中川理事長より、来年度から役員数を増員し、外部幹事を導入することについて説明があった。外部幹事の設置については、行政からも望ましいとの指導がある。方針としては、大阪府の言語聴覚士会および作業療法士会の各理事会から役員を推挙いただき着任して貰う方向で調整している。現状としては、言語聴覚士会会長からは賛同の回答があった。作業療法士会は、12月17日の理事会にて検討がなされるとの回答があった。意見交換の結果、全員の賛成を得てこの方針で継続して進めることとなった。

2) 事務所の移転についての意見交換がなされた。

府士会から新しい事務所の候補地が提示されたが、本来であれば、検討の過程において、センターと共同で検討されるべきであること、移転先の候補地選定の手順に問題があることなどの意見が出された。これらの理由で、センターとしては賛同できないため、明日の合同会議にて府士会の意見を確認することが必要であることとなった。